

鎌倉の魅力を継承しつつ、
次世代に過大な負担を残さないために

公共施設再編を推進します

経営企画課(内線 2565)

現在市では、多くの公共施設が老朽化しており、建物の改修、建て替えに多額の費用が必要となります。このまま現在の施設を全て維持・更新するためには、今後40年間で現在(年17.4億円、直近6年間)の2.8倍の費用(毎年平均49.5億円)がかかってしまいます。限られた財源の中で、できるだけ機能を維持しながら負担を削減するため、中長期的な視点に立った公共施設マネジメントを推進します。

鎌倉市公共施設再編計画

平成27年3月

鎌倉市

公共施設再編計画では

【目標】

コスト 今後40年間の施設更新コストを50%とします

面積 将来の人口減少に連動した施設面積の削減をします

再編の方針

- ◎公共サービスのあり方を見直します
- ◎施設の規模・配置のあり方を見直します
- ◎施設の整備・運営の効率化をはかり、財源を確保します
- ◎具体化に向け、体制を整備します



公共施設再編計画に基づく取り組み事例

(仮称)由比ガ浜子どもセンターの整備

子育て世代が交流できる子育て関連機能を集約します。海に近く、老朽化している材木座保育園と稲瀬川保育園の2園を津波の影響の少ない場所へ移転統合するとともに津波避難ビルとしての機能を併せ持つことで、より安全安心な施設づくりに取り組んでいます。



鎌倉芸術館への PFI 事業の導入

鎌倉芸術館は、開館から 20 年が経過し、舞台設備等の改修・更新に約 20 億円の費用が見込まれています。この改修及び施設の維持管理について、PFI 事業の導入を検討しています。

※PFI とは、公共施設などの建設、維持管理、運営などを民間の資金、経営能力や技術的能力を活用して行う新しい公共事業の手法です



秘書広報課 Facebook



専属キャラクター「ぱっくん」

LINE@公式「鎌倉市」



子ども子育て情報を発信中！

てりかまくら



バックナンバーはこちらから